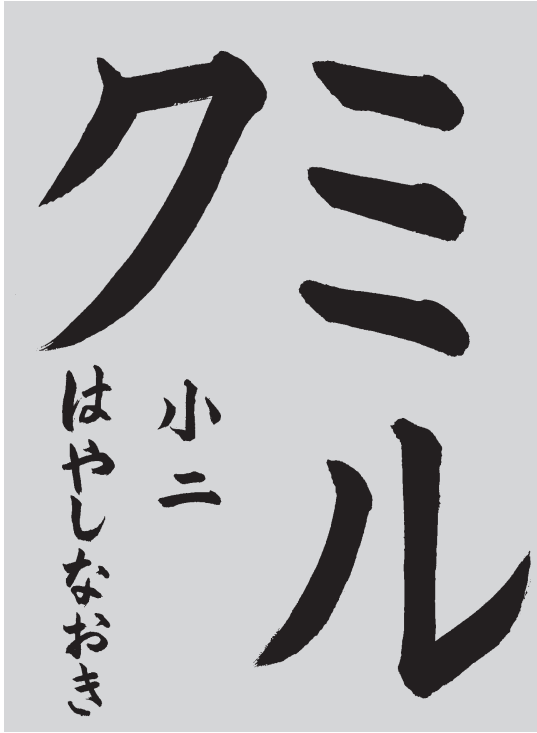


〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

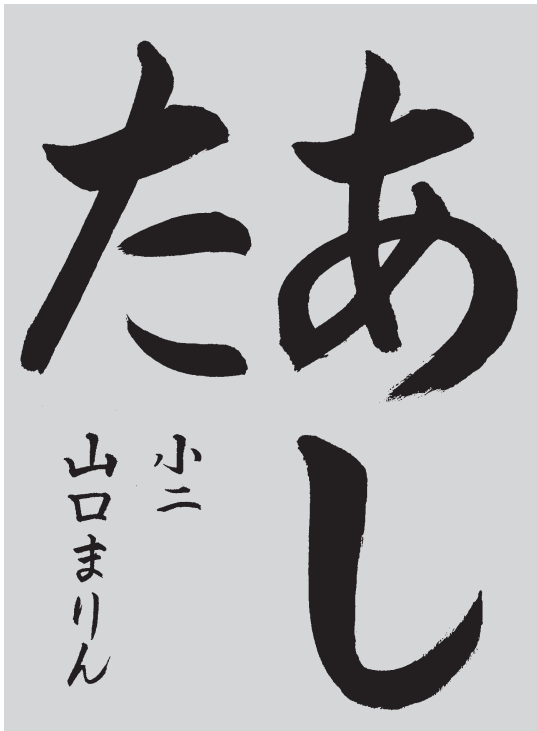


加藤 眺 溪 先生

幼・小学1年参考手本



一谷 春 窓 先生



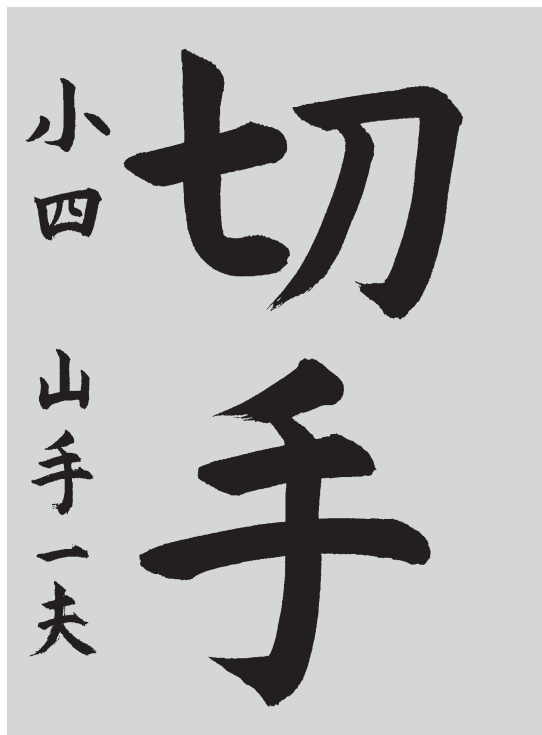
小川 弘 舟 先生



坂本 素 雪 先生

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本

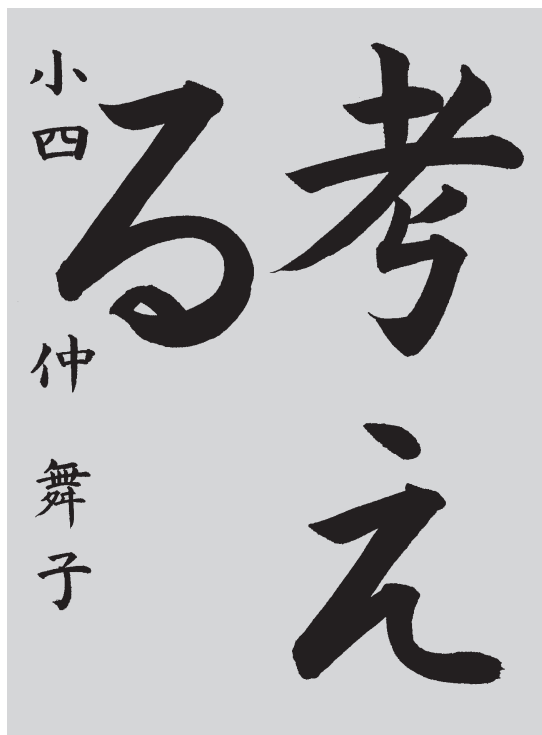


飯高和子先生

小学3年参考手本



下谷洋子先生



小竹石雲先生



尾形澄神先生

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



名越蒼竹先生

小学5年参考手本



川村美泉先生



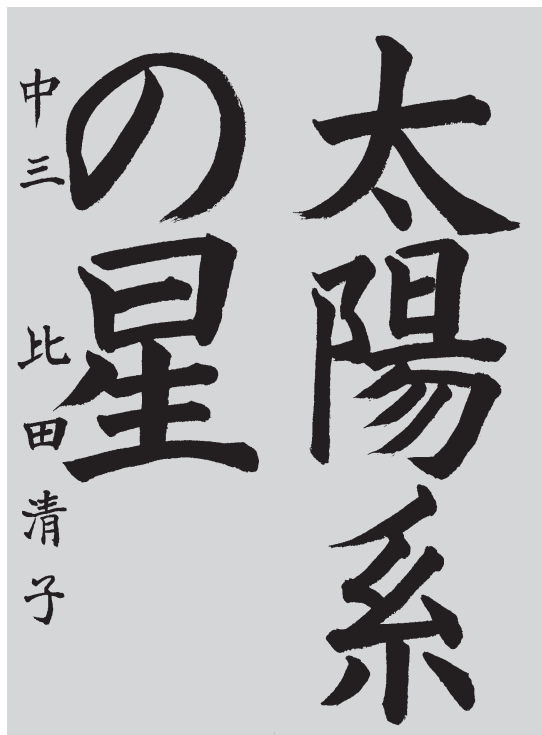
大野祥雲先生



板垣洞仙先生

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

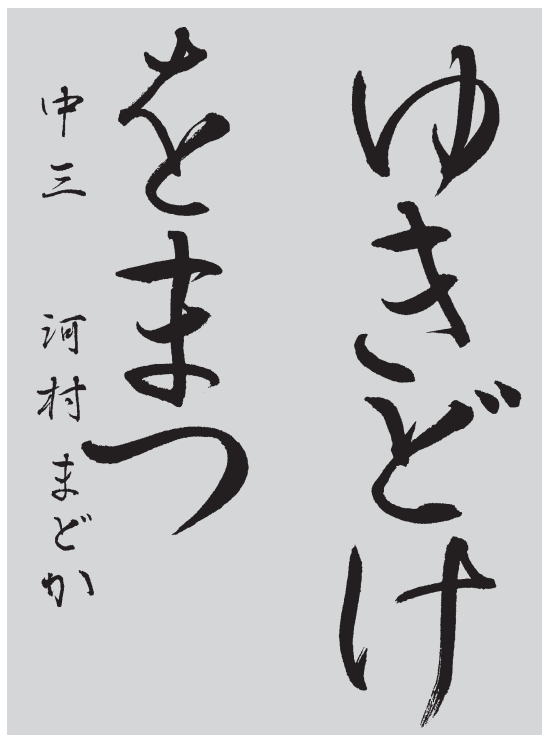
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小林琴水先生



千葉蒼玄先生



石井明子先生



辻元大雲先生

# 〔2月10日締切課題〕

幼・小学1年

## 硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔2月10日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。  
 ※2月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、3月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

支 部 名	ら	お	お
だん・きゅう	い	に	を
がくねん	ま	し	お
一	し	た	い
なまえ	た	。	は
	た	。	は
	た	。	は

「おに」

ひらがなをていねいにかきましよう。

ら

大きくはらう  
へひっじゅんへ

は

むすびのかたち  
つづけるまもちで

を

上へつづけるまもちで

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
		さん		交
段 ・ 級		に		番
		道		で
学 年		を		
三		た		お
名 前		ず		ま
		ね		わ
		た。		り

支 部 名		う		
				は
段 ・ 級		長		か
		さ		っ
学 年				て
二		高		し
名 前		さ		ら
				べ
		花		よ
		田		
		知		
		美		



三画目の終筆の真下で止める  
かるくとめる



左右の「はらい」の方向と長さでつりあいをとる。  
「田」の中心でどっしり。

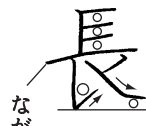


交わる位置にちゅうい

「おまわりさん」  
「番」の字形をととのえて書きましよう。



よこ分間をあげすぎない  
文字の中心線にちゅうい



ながく  
へつじゆんく  
一 三 三 長 長



「長」「高」をただしくととのえましよう。  
「高」をただしくととのえましよう。

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支 部 名			
段・級			
学 年	五		
名 前	南 部 仁		
	つ い た 言 葉 で す。	気 候 や 生 活 に 深 く 結 び	方 言 は 、 そ の 土 地 の

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	黒 谷 真 子		
	る と 地 上 に 出 て 来 ま す。	土 の 中 に い て 、 春 に な	カ エ ル は 、 冬 の 間 は



四画目が一番長い  
〈筆順〉  
㇀ ㇁ ㇂ ㇃ 葉



シ(さんずい)の形に注意



おれ

「方言」  
組み立て方に注意して字形を整えましょう。

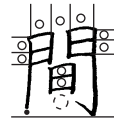


はらう



上に出了部分を長く

五画目の右はらいは、二画目から書く。  
※左右のはらいの長さをつりあいよく。



〈筆順〉  
一 冂 冂 冂 冂 冂 間

たてと横の間を整えて

「カエル」  
漢字の外形を見て、正しく整えて書きましょう。

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名	の役割を果たす場合が多い。	国際的な会議では、英語がそ	二十一世紀の今日において
段・級			
学 年			
名 前			
	中三	小笠原誠二	

支 部 名	く予定で	見学で	来週、
段・級			
学 年			
名 前			
	六	関川利江	学校の社会科学
	。	議事堂へ行	

語 国  
果 会

〈簡単な行書〉

国際的な会議では

『国際的会議』  
漢字を整えて、字配り良く書きましょう。  
(漢字はひらがなより少し大きく書く)

議

戈(ほこづくり)の形と画の長短に注意

科

はらう  
点の位置と方向に注意  
〈筆順〉  
禾 禾 禾 禾 科

中心  
学

『社会科学見学』  
筆順にしたがって、正しく整えて書きましょう。  
中心を考えて整えて書きましょう。



3年	金	キン コン かね かな	ノ 人 今 今 金 金
	星	セイ ショウ ほし	日 戸 旦 早 星
4年	切	セツ サイ き・る き・れる	一 七 切 切
	考	コウ かんが・える	土 考 考 考
5年	皿	さら	丨 冂 冂 皿 皿
6年	宣	セン	宀 宀 官 宣
	氷	ヒョウ こおり ひ	冫 冫 冫 氷 氷
中学	観	カン	ヒ 夕 夕 夕 夕 夕 観
	察	サツ	宀 宀 宀 宀 宀 察 察
	寒	カン さむ・い	宀 宀 宀 宀 寒 寒
	温	オン あたた・か あたた・かい あたた・まる あたた・める	氵 汜 汜 温 温
	系	ケイ	一 マ 玄 系 系

行書を学ぼう

(198)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

星

星

系

系

太

太

座

座

列

列

陽

陽

ひらがなの字源

(198)

書写教育  
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形
つ	川 つ
ま	末 ま
を	遠 を
け	計 け
ど	止 ど
き	幾 き
ゆ	由 ゆ

※源字については、異字体から変遷したもの。\*印を付して( )にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

# ◇ 登録用紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

氏名を楷書で記入してください。

氏名	ふりがな	学年		備考
		小	中	
事務局使用欄				

## ◎ ご注意ください ◎

硬筆用紙の『振込用紙』を紛失する方が多いです。振込用紙は硬筆用紙をお求めになるときに必ず一枚同封しておりますので、大切に保管してください。よろしくお願ひします。

編集余録

○この本が皆さんの手元に届く頃は、お正月かな？新年明けましておめでとごいびります。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

○冬休みからお正月は全国各地で書き初めの季節です。書き初めは四条天皇（1240年）の頃から始められたものと考えられています。約800年も昔のことです。新年1月2日の若水を汲んで、お正月の喜びに浸り、静かに墨をすって、お祝いの言葉、教訓を書き、神棚に供えて、新しい気持ちで神に対して一年の願望を示し、崇高な心をもって心の洗練の場として、日本の長い伝統を持ち続けてきたものです。地方によっては小正月（1月15日）に書いたものを燃やし、炎と共に天高く舞い上がる様子を見て、書の上達、心の躍進を祈願したと伝えられています。書友の皆さんもお正月、じっくりこの一年を思い描きながら書き初めに浸るのも良い事でしょう。

（鄭街）

# 漢字に親しもう

④7

2月号中学生の毛筆課題『太陽系の星』から『系』にスポットを当てて成り立ちから「系」のかぞくまで、学んでみよう。

**系**  
おん ケイ  
くん

系

ノ(＝ひきのばすしるし)と、ヨ(＝糸)を組み合わせた字。

糸をつないで長くのばすことを表す。手で糸をつなぐことから、「つながり」「つながる」の意味。「血すじ」の意味もある。

いみ・じゆくこ

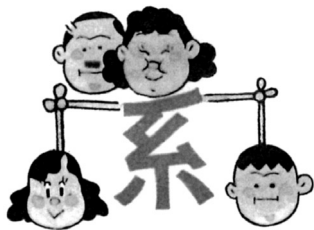
①つながり。つらなり。—系列・系統・山体系系

②つながりをもった仲間。—太陽系

③血のつながり。—系図・家系・直系

つかいかた

- 天候の変化を系統だてて説明する。
- 同じ系列の会社。
- 新しい学問の体系をうちたてる。
- 火星は地球と同じ太陽系の仲間だ。
- 彼は徳川家康の直系の子孫だ。



系  
つかく  
ケイ  
ケイ  
ソク  
系  
係  
孫

ノ十糸→系  
ひきのばす  
糸をつないで、どんどん長くすること。↓つなぐ。つながる。

イ十系→係  
ひと つながる  
人が、何かをひもでつないで、つながりをもつこと。↓かかる。

おん ケイ くん かける・かかり  
いみ ①つながる。かかる。②つけもつ。  
係留・関係・連係・係員・案内係

孫  
子ども  
子十系→孫  
自分の子どもとつながりのある、小さい子のこと。↓まご。

おん ソン くん まご  
いみ むすめやむすこの子ども。  
▼外孫(がいそん・そとまご)・皇孫(こうそん)・子孫(しそん)・孫子(まごこ)